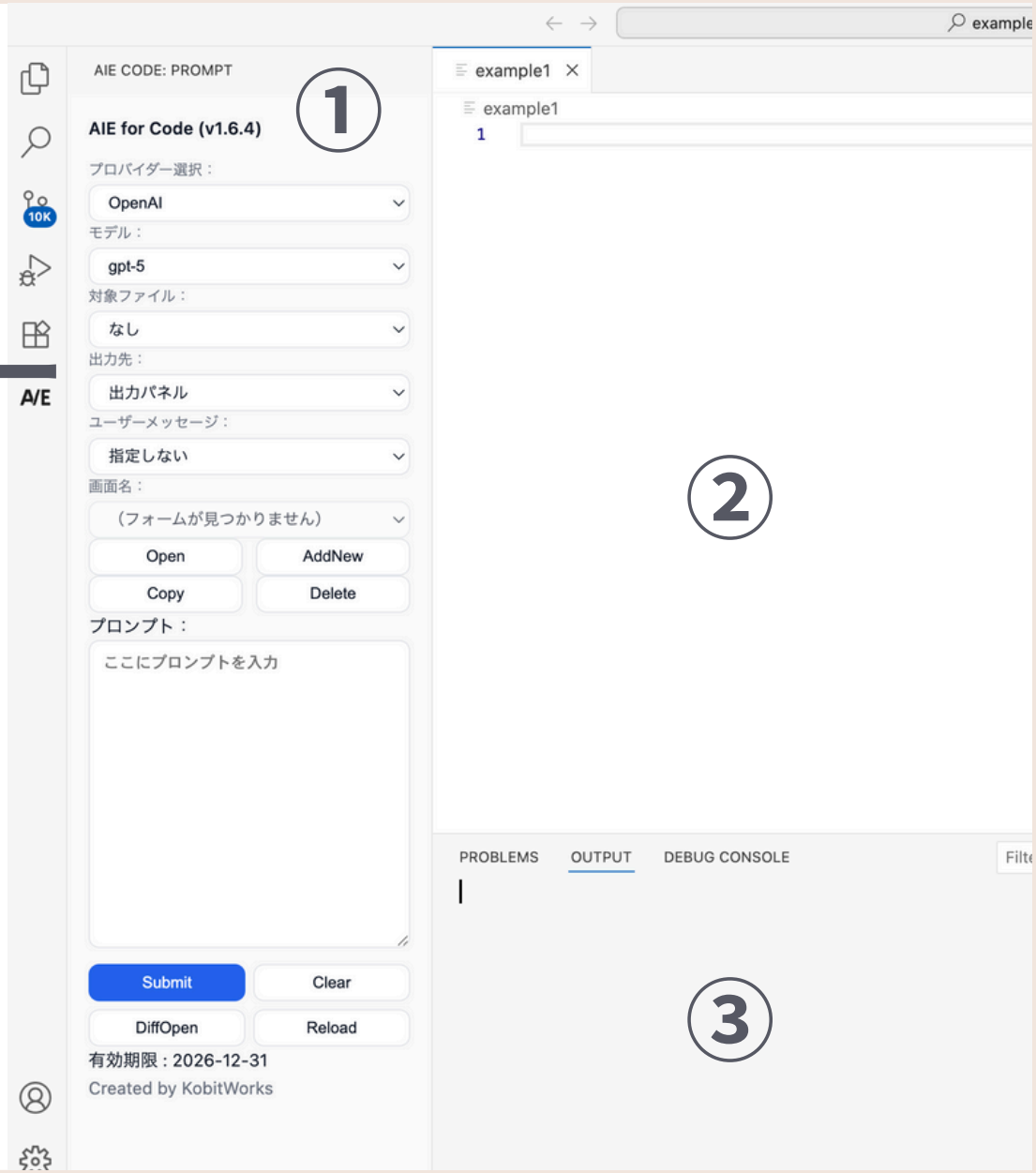
# AIE-Code
# ご利用ガイド

# 内容一覧

1. 各画面の説明
2. 各ボタンの説明
3. ユーザーメッセージの設定方法
4. 利用シーン

# 1.各画面の説明

①サイドバー
②エディットビュー
③出力パネル



# 1.各画面の説明

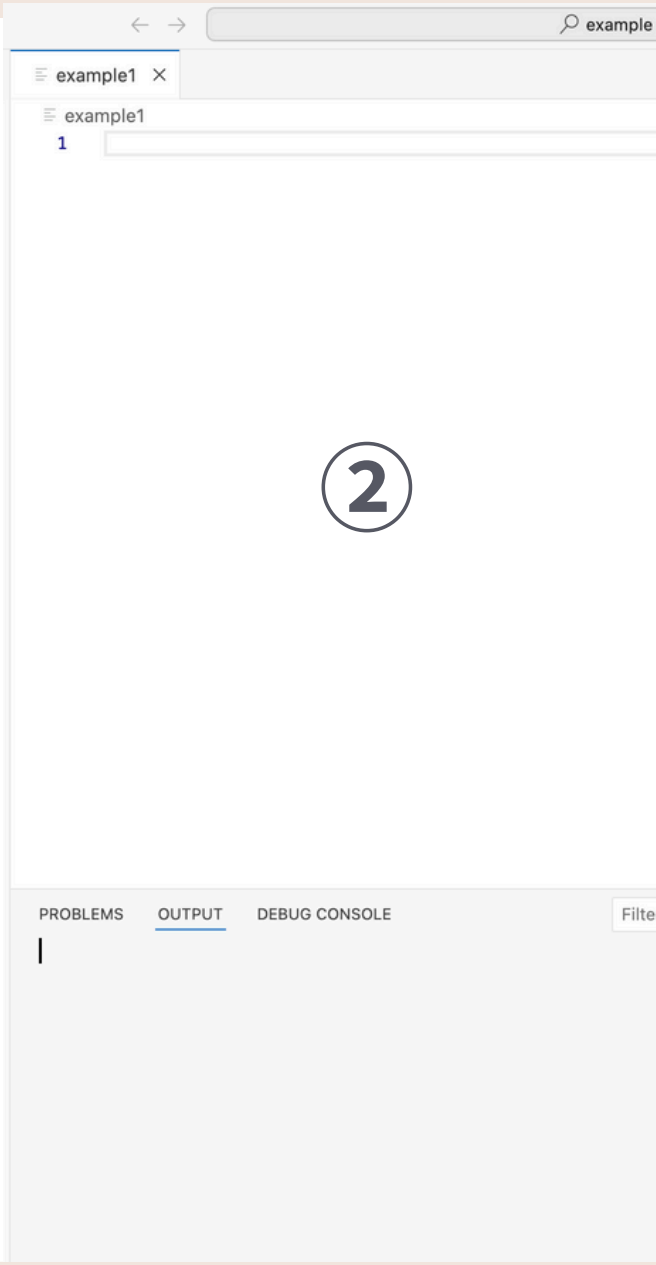
①サイドバー
AIE-Codeの操作画面です。

各種機能やボタンの説明は「2.各ボタンの説明」をご参照ください。

# 1.各画面の説明

②エディットビュー
通常のVSCodeで使用する
エディットビューです。

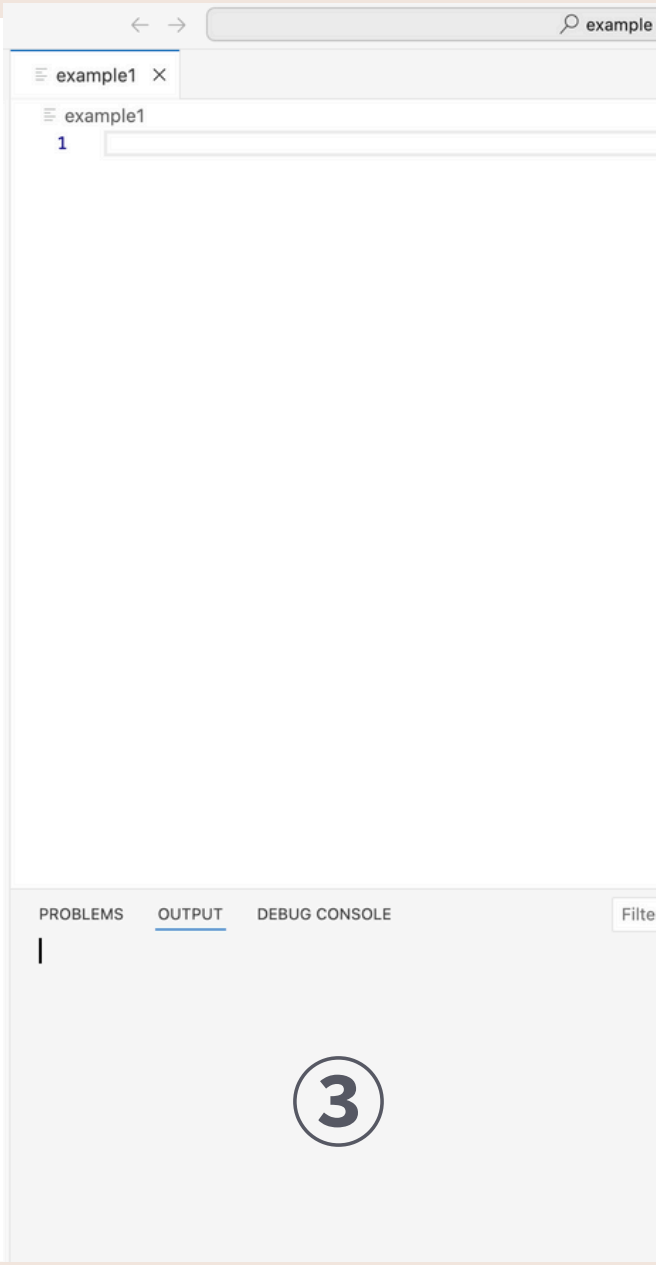
コードの書き込み及びAIの
書いたコードを反映できます。



# 1.各画面の説明

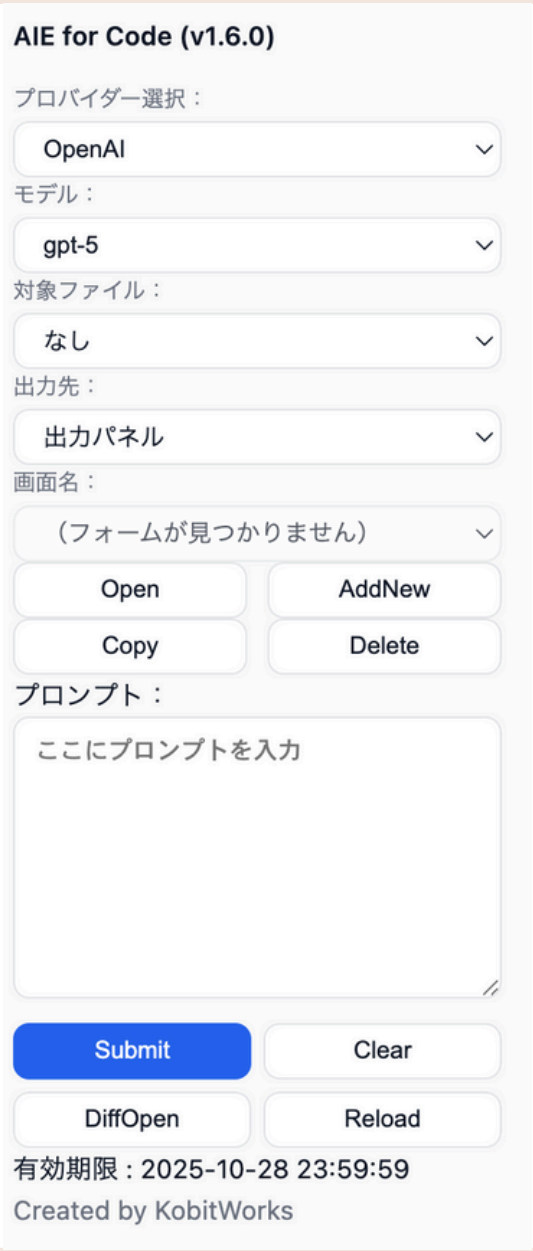
## ③パネルビュー
## AIの返信が確認できます。

## AIの生成したファイルなども
## ここで確認します。



# 2.各ボタンの説明

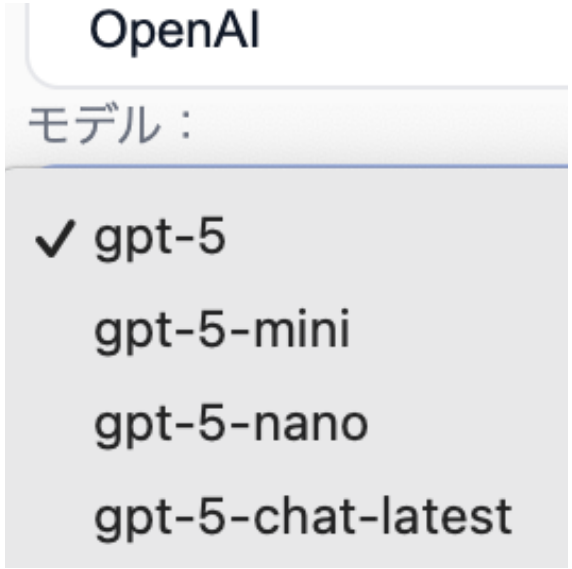
- プロバイダー選択
- モデル
- 対象ファイル
- 出力先
- 画面名（MVCモデル）
- プロンプト
- (Submit)実行ボタン



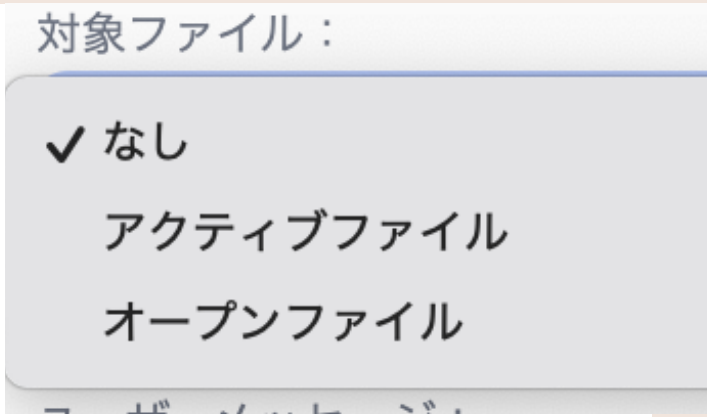
# 2.各ボタンの説明

・プロバイダー選択
OpenAI,Gemini,Groqが
使用できます。

・モデル
各種プロバイダーの
モデルが選択できます。



# 2.各ボタンの説明




## ・対象ファイル（１）

**アクティブファイル：**
**エディットビューで選択中のタブの内容だけをAIに渡します。**

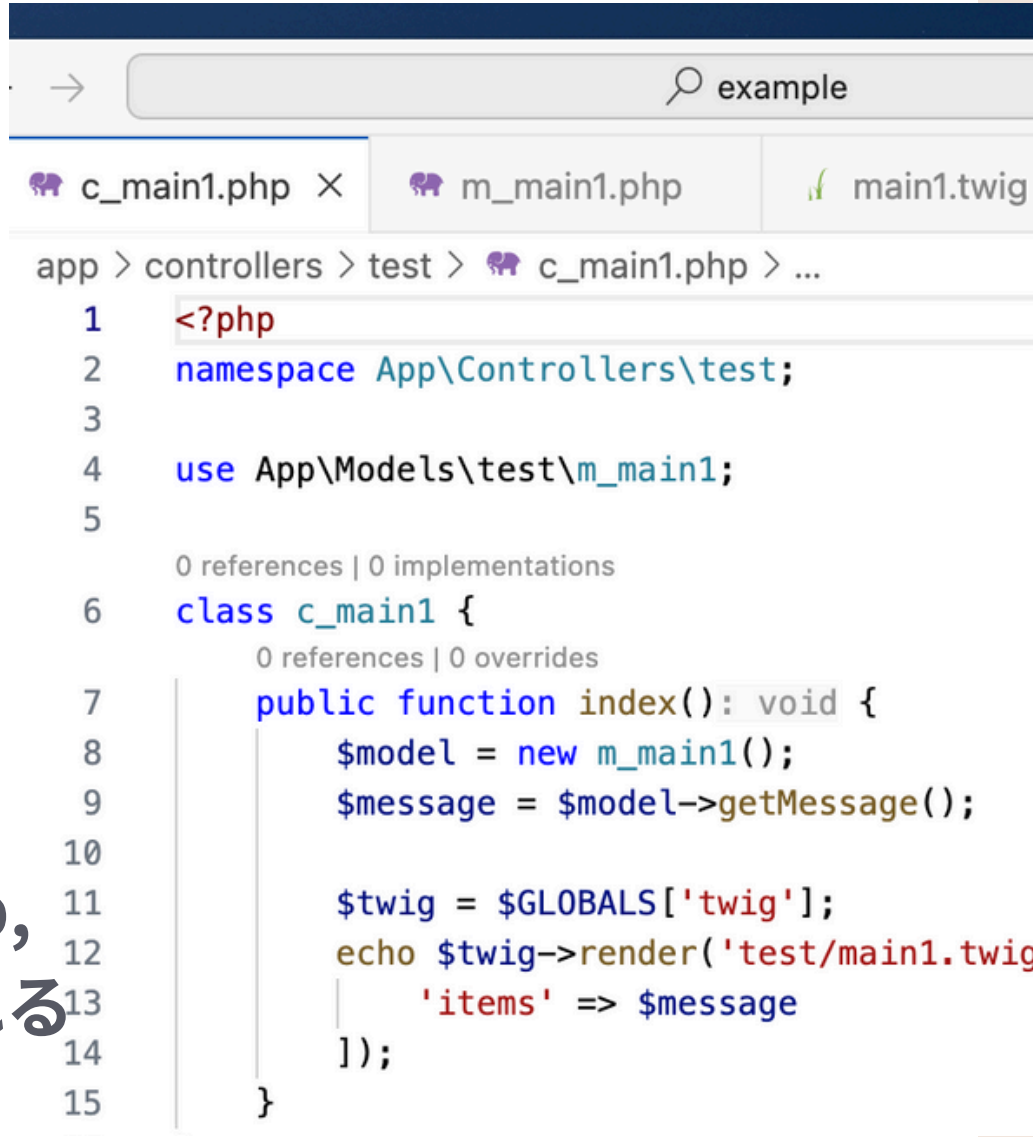
**オープンファイル：**
**エディットビューで開いている複数のファイルを一括でAIに渡します。**

# 2.各ボタンの説明

・対象ファイル（２）

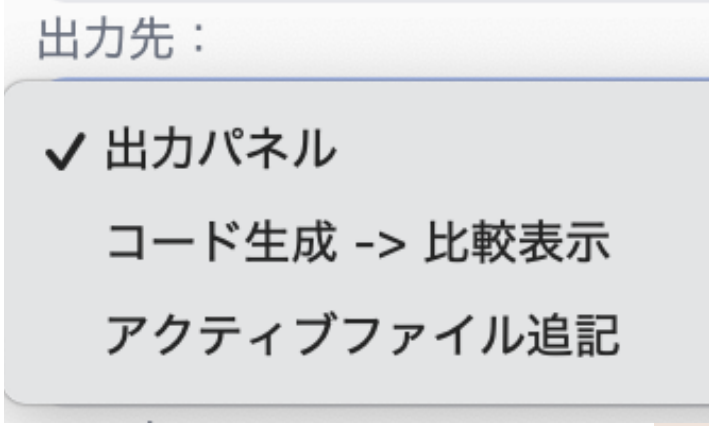
アクティブファイル
c_main1.phpのみ
読み込まれる

オープンファイル
c_main1.php,m_main1.php,
main1.twig...全て読み込まれる



# 2.各ボタンの説明

・出力先
出力パネル：



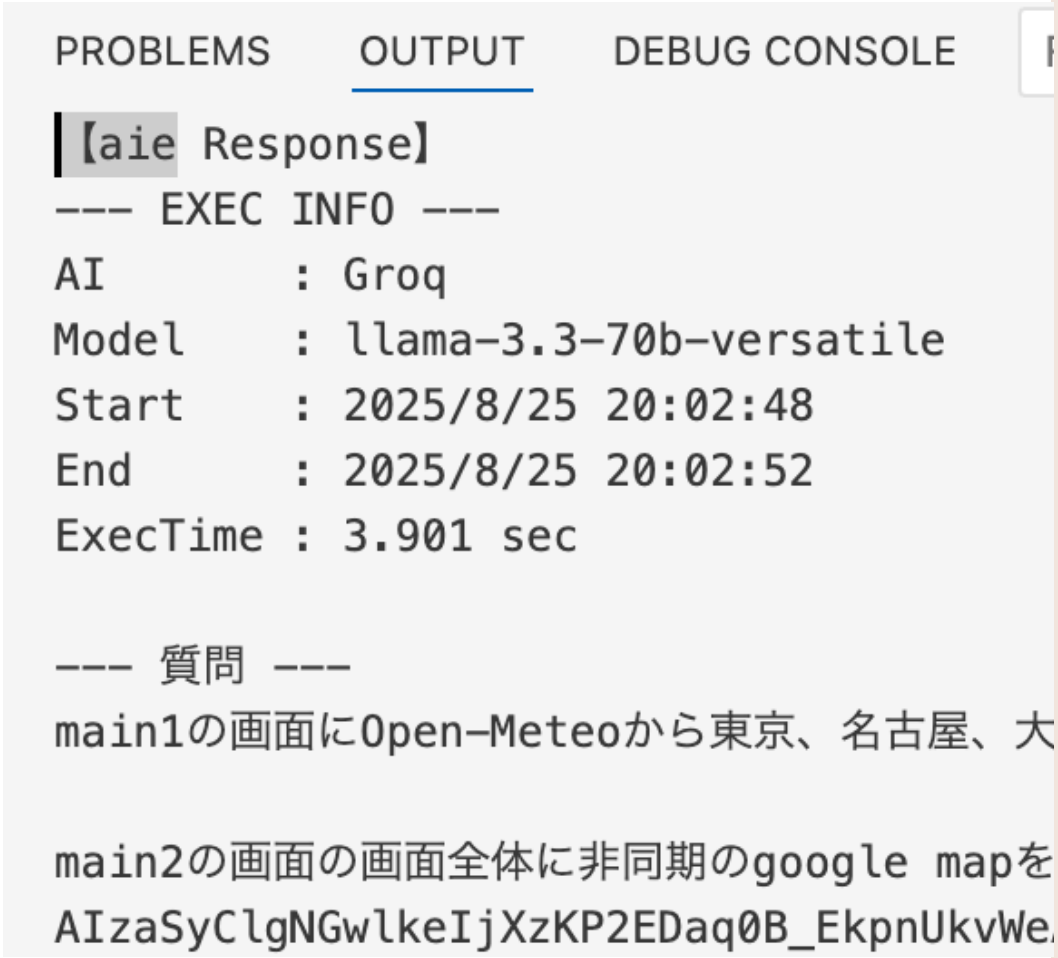

毎回必ず表示される共通の出力欄。
AIに渡した質問と回答がまとめて出る。
実行時間や使ったモデルなどもログに残る。

# 2.各ボタンの説明

・出力先
出力パネル：

実行結果の確認

モデルや時間
質問と回答
など



# 2.各ボタンの説明

・出力先
コード生成->比較表示

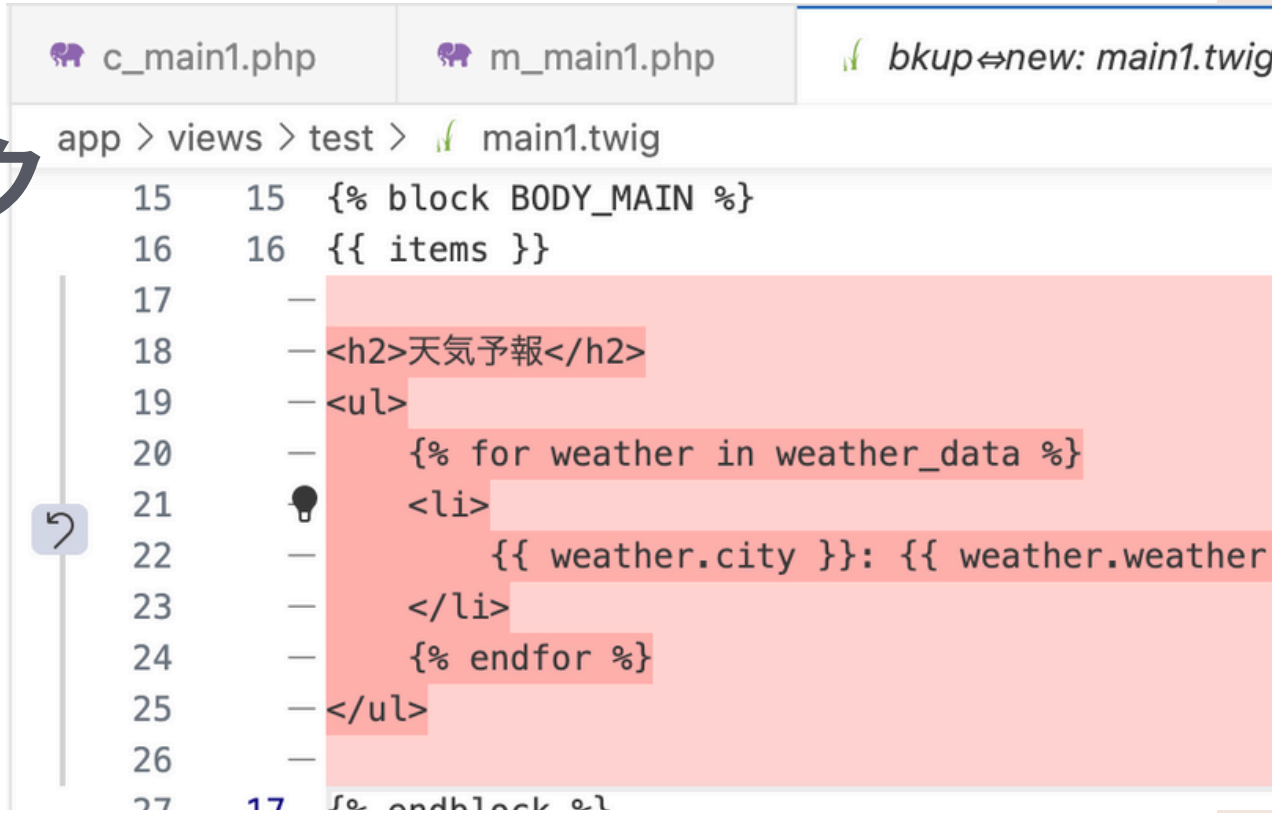
AIが生成したコードを一時ファイルに保存。

差分からコードを見て反映可能。

# 2.各ボタンの説明

・出力先
コード生成->比較表示

左の矢印マークで適用



# 2.各ボタンの説明

・出力先
アクティブファイル追記

アクティブファイルに
質問と回答をそのまま記入

議事録やメモのように残した時に活用可能

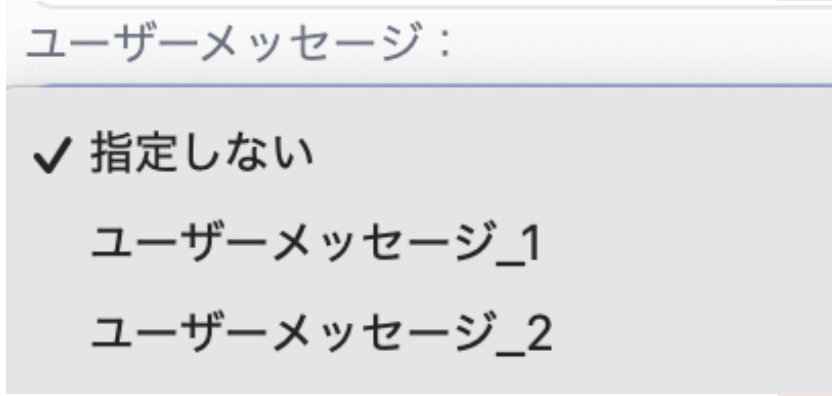
# 2.各ボタンの説明

・出力先
アクティブファイル追記

```
2   -----
3    【aie Response】
4   --- 質問 ---
5   議事録やメモに活用可能
6
7   システム設計や工数管理を教えてください
8
9   --- 回答 ---
0   ### システム設計と工数管理について
1   システム設計と工数管理は、ソフトウェア開発プロセスの重要なステップです。ここでは、これらの概念とそれらの重要性につ
2
3   #### システム設計
4   システム設計は、ソフトウェア開発プロセスの初期段階で実施されます。この段階では、開発チームは、要求分析の結果を基に
5
6   #### 工数管理
7   工数管理（エフォートマネジメント）とは、ソフトウェア開発プロジェクトの工数（人員、時間、コストなど）を管理するプロ
```

# 2.各ボタンの説明

・ユーザーメッセージ



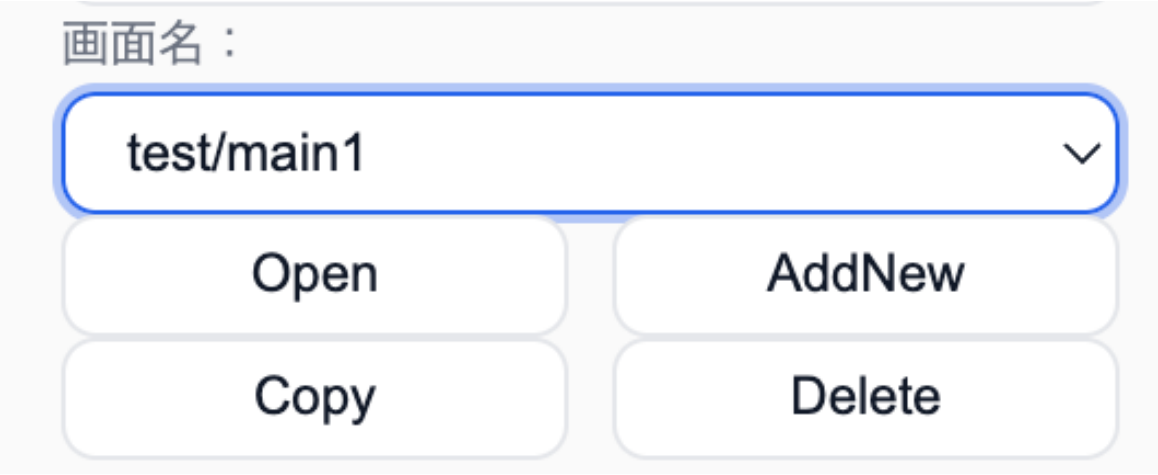

よく使う指示文章を
テンプレート化しておける仕組みです。

詳細は「3.ユーザーメッセージの設定方法」をご参照ください。

# 2.各ボタンの説明

## 画面名

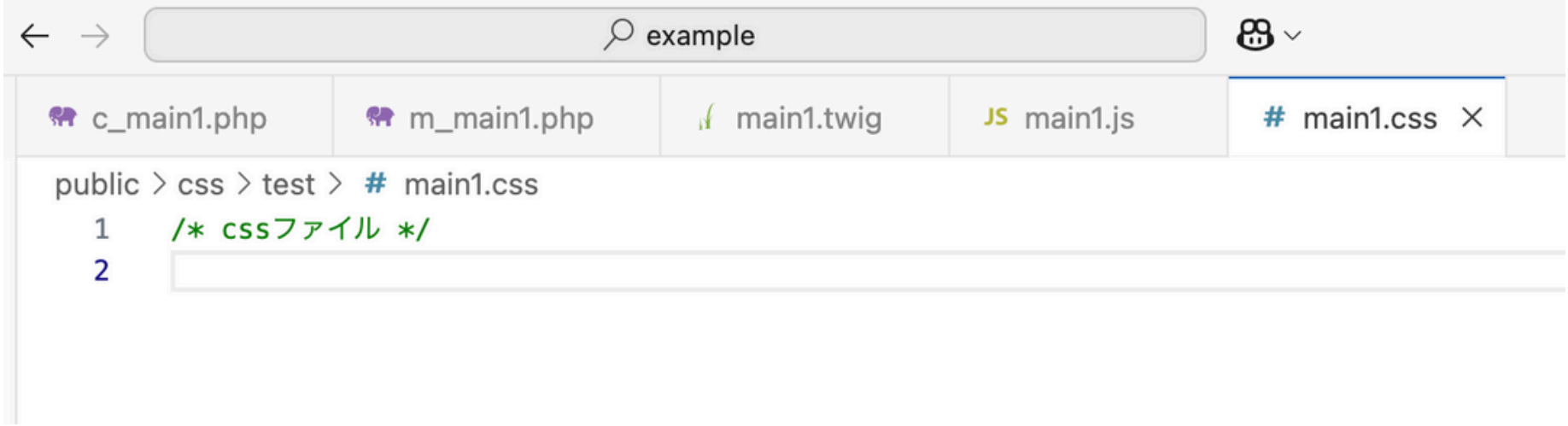
## 画面セット名を選択できます。



# 2.各ボタンの説明

## 「Open」ボタン

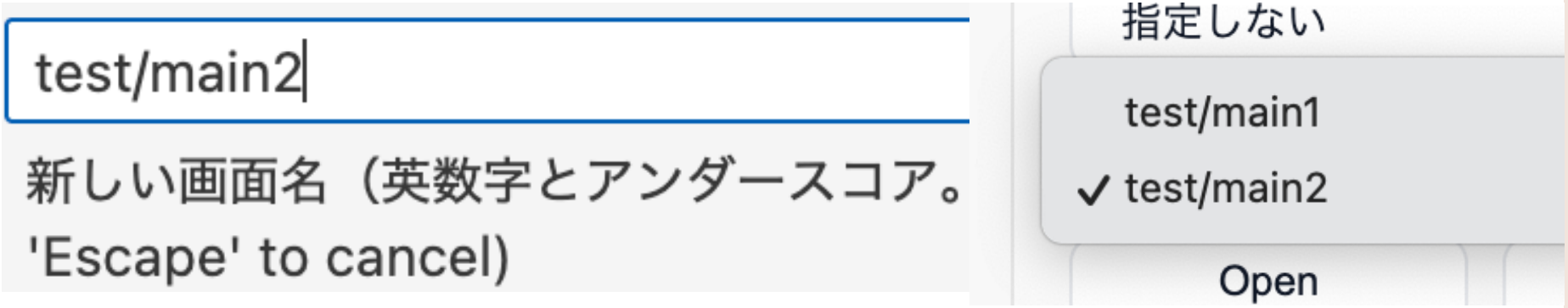
## その画面の Controller / Model / View / JS / CSS を一気に開く。



# 2.各ボタンの説明

## 「AddNew」ボタン

入力した画面名で MVC+JS+CSS を自動生成。



# 2.各ボタンの説明

「Copy」ボタン

今の画面セットを 別名で複製。

「Delete」ボタン

その画面セットの MVC+JS+CSS をまとめて削除。

# 2.各ボタンの説明

## プロンプトと周辺ボタン

Submit:AIに送信されます
Clear:プロンプトを空にする
DiffOpen:差分を開く
Reload:最新状態にする

# 3.ユーザーメッセージの設定方法

## ユーザーメッセージとは？

よく使う指示文章を
テンプレート化しておける仕組みです

毎回同じ前置きが必要な時
→読み込ませたいファイルの指定など

用途ごとにパターンを切り替えたい時
→コードレビュー、ドキュメント要約など

# 3.ユーザーメッセージの設定方法

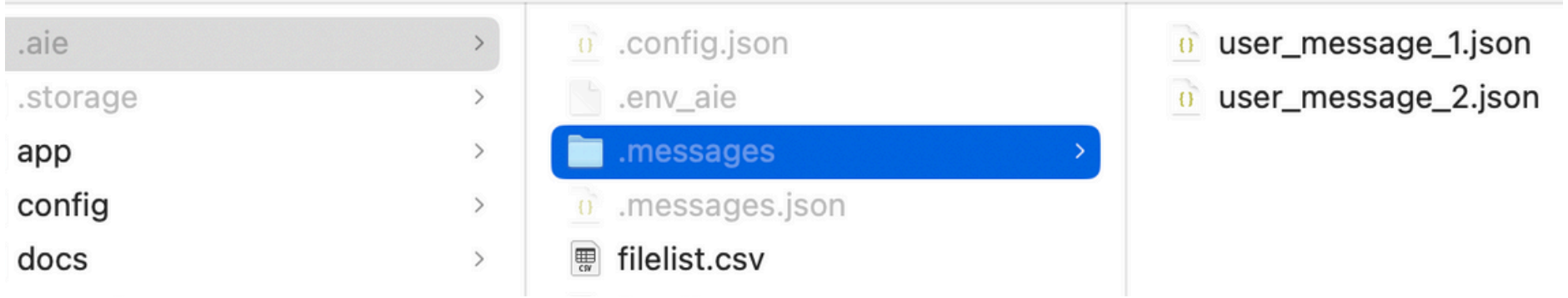
ユーザーメッセージの設定は２つの工程が必要です。

1.ユーザーメッセージファイルの作成

2.ユーザーメッセージファイルをAIEに読み込ませる。

# 3.ユーザーメッセージの設定方法

1.ユーザーメッセージファイルは各プロジェクトフォルダーの
.aie→.messagesフォルダー
の中にあります。



# 3.ユーザーメッセージの設定方法

## 初期はこの様になっています。

```
[
  {
    "note": {
      "message": "一般的な指示メッセージ",
      "message_json_file": "message.json",
      "file": "gen_file指定(ファイル名付きで指示に)"
    }
  },
  {
    "message": "あなたは、AIです。"
  },
  {
    "message": "日本語で回答してください。"
  }
]
```

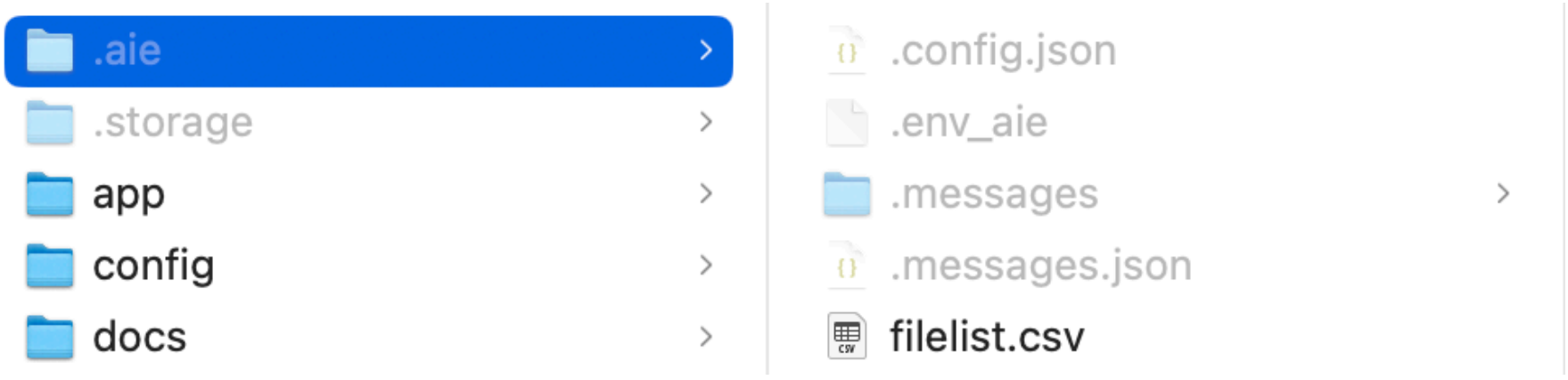
# 3.ユーザーメッセージの設定方法

## 内容例:user_message_3.json

```
[
  {
    "note": {
      "message": "一般的な指示メッセージ",
      "message_json_file": "message.json",
      "file": "gen_file指定(ファイル名付きで指示に)"
    }
  },
  {
    "message": "あなたは優秀なSEです"
  },
  {
    "message": "送付されるファイルの内容を読み解いてバグやエラーチェックを行い、修正してください、"
  },
  {
    "message": "日本語で回答してください。"
  }
]
```

# 3.ユーザーメッセージの設定方法

## 2.ユーザーメッセージを指定するのは ..aieフォルダー→.message.json になります。



# 3.ユーザーメッセージの設定方法

## 初期はこの様になっています。

```
{
  "ユーザーメッセージ_1": "user_message_1.json",
  "ユーザーメッセージ_2": "user_message_2.json"
}
```

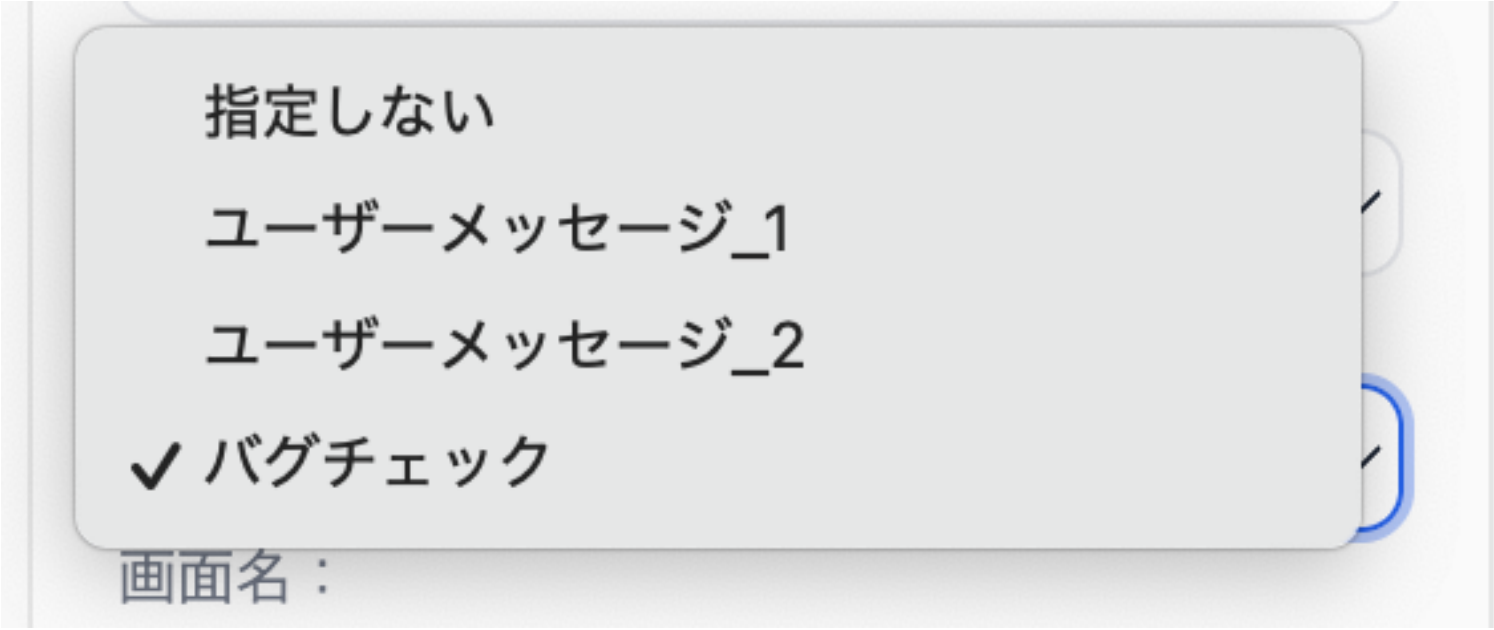
# 3.ユーザーメッセージの設定方法

“サイドバーで表示する名前”:”読み込むファイル名”という形になります。

```
{
  "ユーザーメッセージ_1": "user_message_1.json",
  "ユーザーメッセージ_2": "user_message_2.json",
  "バグチェック": "user_message_3.json"
}
```

# 3.ユーザーメッセージの設定方法

## 反映後リロードボタンを押す



これでご利用ガイドは終了です。

その他要望や質問はフォームからお願いいたします。